InnovationS-i
2015年5月23日（ 土 ）　フジサンケイビジネスアイ

サロネーゼ協会の女性雇用創出評価

■協会アワード大賞に

就労・子育て支援など社会的課題を事業で解決するソーシャルビジネスで優れた取り組みを表彰する「協会アワード2015グランプリ」（主催・協会アワード実行委員会）が都内で開かれ、子育てママを支援する日本サロネーゼ協会が大賞の文部科学大臣賞に輝いた。

協会アワードは、一般社団法人生涯学習認定機構（横浜市）など8法人共催で、開催は一昨年に続き2回目。ソーシャルビジネスを展開する一般社団・財団が応募、審査委員と来場者210人の採点に基づき、31団体が表彰された。

応募団体はいずれも、認定講師と呼ばれる、各団体の事業を全国に広げる人材を育成している。大賞受賞の日本サロネーゼ協会は、クッキーにデザインを描く技術を教える認定講師約1500人を1年で養成、女性の雇用創出が評価された。

生涯学習認定機構の前田出（いずる）代表理事は「一般社団、財団には社会貢献とビジネスを両立させている団体があり、2020年までに200団体をつくりたい」と述べた。

大賞の日本サロネーゼ協会代表理事（前列左から2番目）ほか受賞者
＝21日、東京都渋谷区